

教育カウンセラー あきた

第19号

2011年（平成23年）9月4日発行

教育カウンセリングを さらに理解したい

秋田県教育カウンセラー協会
代表 水戸谷 貞夫

本会の本質を理解していただくためには、「教育カウンセリング」について知らねばならないと考えているので、ご参考まで三つの文を取り上げてみたい。

① 「この法人は、一般市民に対して、教育カウンセリングの考え方や方法を普及し、教育）カウンセリングに関する研修会、後援会、研究会の開催、専門援助者の養成および資格認定、日常のサポート活動の企画運営等諸活動を通して青少年の健やかな成長と国民の教育、福祉の向上に寄与することを目的とする。」（注1）

② 「教育者だからこそできるカウンセリングがふたつある。ひとつは、カウンセリングマインドであり、もうひとつはグループアプローチである。カウンセリングマインドとは日常の教育活動の中でのリレーション（ふれあい）をつくる心がまえのことである。それを具現化する方法がワンネス、ウイネス、アイネスである。個別指導はそのいずれをも含んでいる。教育者だからこそできるもうひとつのカウンセリングはエンカウンターやサイコエデュケーションを含む6つのグループアプローチである。」（注2）

③ 「ここでいう新しいとは、伝統的カウンセリングとは異なるという意味である。」
この伝統的な方法は、教育の場では使いにくい。パーソナリティの変容にウェイトをおかず問題解決、予防、開発にウェイトをおく教育カウンセリングでは、受身的よりは能動的に、傾聴方式よりはワークショップ方式にウェイトをおいたカウンセリングの方が実用的ではないか、と提案したい。」（注3）

（注1）日本教育カウンセラー協会が、NPO法人となるとき設立の趣旨である。

（注2）教育カウンセラー協会発足の頃「教育カウンセリング講座」として会長の國分康孝先生が、教育およびカウンセリングに関わるすべての方々に向けてつくられたビデオ（全4巻）の説明文で、第1部の「教育カウンセリングの原理」のものである。

（注3）同上のビデオの第2部の「教育カウンセリングの方法」の説明文である。



実践レポート

『社員教育に、構成的グループエンカウンター（等）を活用した実践例』

報告者 協会理事 上級教育カウンセラー 浅沼 知一

はじめに～学校教育場面で、構成的グループエンカウンター（SGE）などの教育カウンセリング的アプローチが多用され、高い成果をあげていることは良く知られている。

しかし、教育カウンセリングのフィールドは、学校教育に限定されるものではない。筆者は企業カウンセラーとして社員教育に携わり、その中でSGEをはじめとする教育カウンセリング的アプローチを試みているので、その概要について報告する。

背景～A社。社員数約200人。電気部品製造の工場。筆者は非常勤の健康管理スタッフとして、毎月1回（午後半日）訪問。業務内容は ①カウンセリング ②産業看護師・衛生管理者・人事労務担当者などへのコンサルテーション ③安全衛生委員会メンタルヘルス分科会への出席 ④研修指導 等である。社員教育ではこれまで、メンタルヘルス研修を全社員に行い、管理監督者（課長・主任）にはコミュニケーション研修、経営層（社長・部長等）には人材育成や動機付けに関する研修を行っている。

内容・方法～事前に管理監督者（課長）に職場の状況や問題点、部下・職場への（『こうなって欲しい』）希望・要望をヒアリングし、テーマを設定、プログラムを作成している。基本的にヒアリングの翌月、職場メンバー全員が会議室に集まり、90分の研修が実施される。研修内容は講義と演習（エクササイズ）、及び振り返り（シェアリング）である。実施後には参加者から評価アンケートを記入してもらっている。

結果～H22.8月からH23.7月まで、計8回実施した。（※評価は『とても良い』『良い』の合計）

日時	部署	問題・希望	テーマ	内容（エクササイズ等）	評価
H22.8	総務	対人関係良く、やる気がある職場に	『モチベーションを高める組織作り』	「トラスト・フォール」「トラスト・ウォール」「実は私（大阪バージョン）」	100%
H22.10	経理	主体性や指導性を高めて欲しい	『内発的動機付け研修』	「欲求5段階説」「エコグラム」「交流分析理論に基づくロールプレイ」	100%
H22.11	装置保守	他部署への説明を上手く出来る	『発信型コミュニケーション・スキル研修』	「メラビアンの法則」「非言語的メッセージ」「イエス・セット」「ロールプレイ」	100%
H22.12	製品テスト	中高齢者多く、メンバ-固定、刺激が少ない	『脳パワーUP研修』	「アウチでよるしく」「たこ八」「合わせアトセッション」「肩もみエンカウンター」	92%
H23.2	開発(若手)	消極的で受身的。コミュニケーション下手	『能動的問題解決力向上研修』	「No I am I」「課題解決グループワーク・ハンカロー殺人事件」	77%
H23.4	開発(シニア)	若年社員との関わり方に悩む	『若手社員指導・対応スキル研修』	「現代の若年者の特性」「傾聴」「リフレーミング」「自己開示」	100%
H23.6	設計	個人プレイに見えるが、協調性が重要	『業務（関連要素）再発見研修』	「漢字発見」「1枚の絵」「グループ・デスカッション」	100%
H23.7	研究	多忙で疲れ気味。すぐ成果が出ない業務	『疲労対策&潜在パワー活用研修』	「リラクゼーション」「自律訓練法」	100%

まとめ～SGE等を用いた社員教育は、受講者から肯定的な評価を得ている。効果については、今後検討したい。





秋田県教育カウンセラー協会 これまでの歩み

教育カウンセラー養成講座

年度	公開講座	研究会	研修会・研修講座	ワークショップ
2001年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2002年度	2001年にNPO日本教育カウンセラー協会会長の園分康幸先生(参加者数81名)をお招きして教育カウンセラー公開講座を開催し、いすれも大好評に終了いたしました。	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2003年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2004年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2005年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2006年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2007年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2008年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2009年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2010年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ
2011年度	「学校教育に生かせる育てるカウンセラーの普及」と「教育カウンセラーの育成」を目的とした支部の設立に向けて、2002年8月に第1回秋田県支部設立準備委員会が開催されました。(定べり設立準備委員会を閉会)	「子育てを育むカウンセラー」 その価値と方法 東成徳大学 教授 園分 康幸 先生	研修会・研修講座	ワークショップ

カウンセリング・トピックス

「PAとSGE」

先日、5年生児童と一緒に「少年自然の家」での高原学習に出かけてきた。強風のため楽しみにしていたテント泊はできなかったが、プロジェクト・アドベンチャー(PA)や野外炊飯、ナイト・ハイク、そして2日目にはカヌー体験と、子ども達は自然や友達とのふれあいを満喫した。

構成的グループエンカウンター(SGE)に関心を持つ人の中には、プロジェクト・アドベンチャー(PA)を体験し、その延長としてSGEエクササイズを知りたい、とおっしゃる方がいる。確かにPAとSGEのエクササイズは、似通ったものがある。では、その共通点と相違点は何か。

「プロジェクト・アドベンチャー・ジャパン」によると、「PAは人と人との関係で最も大切な『人を信頼する心』を、アドベンチャーをベースとする環境で作り出すことを目的としている。アドベンチャーには、更に自己との対峙、葛藤、自分自身に対する挑戦、仲間との協力、成功体験、達成感など、人間の成長に生かすことのできる性質がたくさんある。」と説明している。

一方、構成的グループエンカウンター(SGE)は、リーダーの指示した課題をグループで行い、そのときの気持ちを率直に語り合うこと、すなわち「心と心のキャッチボール」を通して、徐々にエンカウンター体験(ホンネとホンネの交流)を深めていくものである。

両者に共通するものは、「信頼体験」である。PAは自然を相手にしたアドベンチャーや

グループみんなで体を動かすエクササイズを通して、仲間との信頼体験を図る。そのため、そのエクササイズはSGEの「信頼体験エクササイズ」に似通ったものが多い。しかし、SGEは「エクササイズを通して「エンカウンター」(ホンネとホンネの交流)をすることなのである。そして、このエンカウンター体験が、自分や他者への気づきを深めさせ、人と共に生きる喜びや、我が道を力強く歩む勇気をもたらすのである。

参考・引用文献

- 「PAとは」 <http://www.pajapan.com>
- 「エンカウンターとは」 <http://www.toshobunka.jp/sge>

(秋田県教育カウンセラー協会事務局員
中級教育カウンセラー 齊藤智恵子)



編・集・後・記

今年はサッカーで「なでしこジャパン」が世界一になった。先日行われた国語教員のための研修会で「なでしこジャパン」が勝ったのには理由があると説明された。それは言語力を鍛えた成果だということだ。つまりこういうことだ。日本人は仲間とのコミュニケーションがへたであり、意志をはっきりと表示するのが苦手な傾向にある。試合の時も選手が意思の疎通を図ることができなかったことが世界で勝てない理由だとサッカー協会が判断した。そこでサッカー協会では言語力を鍛える取り組みをしたのだそうだ。自分の思っていることを正確に相手に伝えたり、自分の意志をはっきり伝えるなど、上手にコミュニケーションをとるためには言語力が必要不可欠だからだ。それを知ったとき、サッカー協会と自分たちは同じ方向を向いていることを感じた。よりよい人間関係をつくっていくことは私たちの願いであり、上手なコミュニケーションの仕方を身につけることはそのために必要なことであるからだ。日々生徒を指導する教師にしかできない教育カウンセリングをすることの大きな意味を感じる。(N・Y)



◆教育カウンセラー養成講座
9月4日(日) 10:00~12:00 (秋田県総合保健センター)
テーマ:「子ども理解・対応」の新たな視点と実践について
講師: 齊藤 千香先生(国語大学大学院准教授、上級教育カウンセラー)
◆構成的グループエンカウンター入門ワークショップ
11月20日(日) 9:30~16:30 (秋田県社会福祉センター)
講師: 園分 康幸先生(東成徳大学名誉教授、NPO日本教育カウンセラー協会会長)、園分 久子先生(東成徳大学名誉教授、園分カウンセラー研究会代表)、園分 久子先生(東成徳大学名誉教授、園分カウンセラー研究会代表)、園分 康幸先生(東成徳大学名誉教授、園分カウンセラー研究会代表)